

令和4年度第11回役員会議事録

日時 令和4年12月23日（金）14時52分～15時30分

場所 事務局棟4階学長応接室

出席者 日詰学長

塩尻、川田、森田、大場、川村の各理事

欠席者 なし

陪席者 河島監事、鈴木監事、中村、丹野、小形、成田、白柳の各部長

依藤次長

I 議事録の確認

令和4年度第10回役員会（令和4年11月30日開催）議事録（案）及び令和4年度臨時役員会（令和4年11月30日開催）議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1. 年俸制I型適用教員に係る不服審査申立てについて

不服審査委員会委員長から、資料により、国立大学法人静岡大学年俸制運用細則第19条第1項及び第2項による年俸額に係る不服審査の申立てについて、不服審査委員会における審査を経て、年俸評価委員会の評価を妥当と判断した審査結果通知書の提案説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、本議題は他の審議、報告が終了した後、役員全員、河島監事、鈴木監事、依藤次長が残り、他の陪席者は退出する形で審議された。

2. 現物寄附受入れ体制の整備に係る規則の一部改正・制定について

議長から、資料1により現物寄附受入れ体制の整備に係る規則の一部改正・制定についての提案説明があり、次いで依藤総務部次長から、大学運営会議にて委員より意見が出された用語の使い方については、先行事例もあり問題はないとの報告があり、審議の結果、原案を議決した。

3. 令和4年度業務達成基準の適用事業について

議長から、資料2により令和4年度業務達成基準の適用事業について提案説明があり、審議の結果、原案を議決した。

委員からの意見

- ・半導体不足が原因であれば本件と同様のケースが今後も出てくると想定されるが、それが少額の物品であっても教員の研究に問題は生じないか。
→原則として当該年度で考えるが、どうしても次年度になるのであれば、次年度予算で考えるのが良いのではないか。
- ・科研費で同様のケースが出てきた場合に、繰り越すことで教員及び本学において科研費の申請に不利が生じることはないか。
→科研費は、簡便な理由書の提出で予算の繰り越しが認められている。

4. 教育研究評議会の議により役員会が議決したとする議案について

議長から、資料3により、令和4年度第8回教育研究評議会（令和4年12月21日開催）で承認された以下の議案について報告があり、役員会に関する申合せ（平成20年4月16日制定）により、同日付けで役員会が議決したとすることを確認した。

○国立台湾科技大学（中華民国）との大学間交流協定の締結について

（教育研究評議会議資料2）

○嶺南大学校（大韓民国）との大学間交流協定の更新について

（教育研究評議会議資料3）

○トゥン・フセイン・オン・マレーシア大学（マレーシア）と大学間交流協定の更新について

（教育研究評議会議資料4）

Ⅲ 報告事項

1. 人文社会科学部長候補者、教育学部長候補者、情報学部長候補者、工学部長候補者、グローバル共創科学部長候補者及び光医工学研究科長候補者の決定について

議長から、「静岡大学学部長等の選考及び任期に関する規則」に基づき、人文社会科学部長、教育学部長、情報学部長、工学部長、グローバル共創科学部長、光医工学研究科長の各候補者を決定した旨、報告があった。

以上